



## 【 「ハテナ」をもつぞ。考えるぞ。 】

○ 今年度の「知」の行動目標は、「**毎日、自分のハテナをもつ**」です。「井波学①『追究学習』」をはじめ、学習するには**自分から疑問や課題をもつ**ことが必要です。与えられるのに慣れてしまうと、受け身となり、主体性が発揮できにくくなります。そこで、追究する出発点として、上記の行動目標を設定したのです。

○ そして、2学期からはレベルアップして、「**ハテナについて考える**」ことを目指していきます。児童玄関前に、「**?コーナー**」を作り、ハテナをもった子供がA3用紙に書きます。それを見た他の子供が、自分の考えや調べたことを小さな用紙に書いて貼ります。これは、他人のもったハテナを追究・解決するスタイルですが、**追究・問題解決の一環**と捉えています。

○ 例えば、次のようなものがあります。

3年生のハテナ：「友達とけんかをしてしまったら、どうやって仲直りをすればよいですか？」

6年生の考え：「素直に謝ったらいいと思います。けんかをしない努力をしましょう。」

5年生のハテナ：「どうやって虹ができるのかな？」

6年生の調べ：「太陽の光が空気中の水滴によって反射されると、水滴がプリズムの役割をするため、光が分解されて、7色の帯に見えます。」

○ 読んでいて、「なるほど。」と思います。すばらしいハテナであり、すばらしい考えや調べです。また、例えば、「プリズム」という言葉が出てきましたが、もしこの言葉の意味が分からなければ、自分でインターネットで調べたり、それを書いた人に訊いたりして、これからも追究や問題解決が続きます。以前から言われている「**問題発見力が重要である**」ということ、井波小学校で取り組んでいるところです。

